

～ 母校のいま～



2023年8月撮影

令和5年飯高生あるある

「都の塵も通いこぬ」信州伊那谷を巣立って十一年。母校の面影ははるか遠くになってしまったけど、記憶の片隅に残る真夜中の強歩大会、汗を流したクラブ活動……。ふと、母校はいまどうなっているのだろうかと思いは巡る。そこで、いまだき飯田高校生あるあるを探ってみた。駒瀬隆・飯田高校校長先生のご協力でお届けする。

伝統の強歩大会復活!!

今年4月27日（木）、コロナ禍で3年間開催できなかった強歩大会が行われた。

飯田高校を午前9時半スタート、元善光寺を經由して高森町上段の天白公園を折り返す約20km。「多くの生徒が参加できるように」「運営に負担がないように」と、男女同じコースになった。

往路はひたすら上り坂が続くハードさ。駒瀬校長も生徒に声をかけながら一緒に走った。「昨年の3年生は一度も強歩が出来なかった。今年の3年生は最初で最後だが、参加できてよかった」——喜びの声を聞いている。

かつては男子70km、女子40km余を夜通し走った(歩いた)伝統の行事。1978(昭和53)年から日中開催となり、コースも変遷を繰り返してきた。

1956(昭和31)年に始まった強歩大会は今年第66回となる。今では生徒自治会活動の一つに位置付けられ、先生方も「高校時代の貴重な経験として継承していきたい」と気持ちが一致しているという。

修学旅行で九州、関西へ

「飯田高校には修学旅行がない」のが当たり前だった。それでも、誰が言い出したのか、クラスで日帰りバス旅行に出かけ霧ヶ峰、車山を回った記憶がよみがえる。

学年全体での修学旅行が始まったのは2003(平成15)年から。当初は広島、神戸、大阪方面だった。沖縄に行った学年もある。

修学旅行以前は、寒中休みや春休みに1泊2日のクラス旅行をしていたという。修学旅行への機運が芽生えていたのかも知れない。

昨年は、2年生が12月に2泊3日で九州へ大阪・京都を周遊。九州では知覧特攻平和会館(鹿児島県)や長崎・原爆資料館を見学した。コロナ禍にあって感染防止を徹

底するなど可能な限りの対策をとって一昨年に続き実施した。高校時代のかけがえのない思い出作りをと位置付けている。

国際交流が活発

●ガーナ人留学生が在籍

昨年6月から今年3月まで、ガーナからの留学生レイ・クピリカイ君(写真)飯田高校提供が1年B組に加入、クラスメイトらと一緒に学んだ。英語や体育、書道から古典の授業も受けた。「時間を守り勤勉な国民性にひかれて」日本留学が実現。また日本に戻り、化学や電気などを学んでエンジニアになりたいと夢を語っていた。



●ウクライナを応援

ロシアによるウクライナ侵攻で高森町に避難していたウクライナ人9人を飯田高校に招いて、「ウクライナの

方々と語る会」を昨年7月1日に実施したⅡ写真(飯田高校提供)Ⅱ。生徒自治会が主催し、本校生約50人が参加。「高森での生活は?」「世界に求めることは?」「ウクライナに戻ったら何をしたい?」「日本の高校生に望むことは?」等々生徒からの様々な質問に、丁寧に、誠実に答えていただいた。

生徒と年齢が近い19歳の女性もいて、平和について考えるときともにウクライナの方々の切実な思いを直に聞くことができ

た。
邦楽班による琴の演奏や空手班の演武で歓迎すると、ウクライナ側は歌でお返し。和やかな雰囲気



歌い継がれる「千余の生徒」

少子化の流れは我が母校にも。今年、令和5年度の生徒数は、全学年合わせて717名。各学年A～F組の6クラスあり、普通科5クラス、「理数科」1クラスという構成。男女ほぼ半々で、もちろん各クラスが共学だ。3年間男子だけのクラス…なんてことはない。

かつて「団塊の世代」と呼ばれた高19回生、20回生は1300名を超えていた。その後、団塊ジュニアの世代に1学年400名を超える時期が続いたが、1998(平成10)年にトータル1000名を割る。2013(同25)年には800名台、18(同30)年に700名台へと減っていった。

「千余の生徒怠らず…」の校歌は、変わることなく歌い継がれているという。「理数科」は、明確な目標を持ち、高いレベルで自分を磨こうとする意識を持った生徒により、数学・理科に比重を置いた質・密度の濃い授業を行っている。1999(同11)年設置。

令和5年度の生徒数(学年別)

学年	男子	女子	計
1年生	112	131	243
2年生	122	117	239
3年生	130	105	235
全学年	364	353	717

天文班が超人気……？ ラグビー班危うし！

今年5月現在の班活動、構成人数を学校から提供していただいたⅡ下の表Ⅱ。運動系は定番の活動がしっかり受け継がれている。文科系では目新しい班名に出合う一方、懐かしい名前が見当たらないのがちょっと寂しい。

天文班（写真は天体望遠鏡）に最多の72名が集まっている。人気の背景は……？ 天文に親しみたいという気持ちでとらえられ他の班活と掛け持ちする「兼班」の女子が多くなっているよう。コロナ禍が終息し天体望遠鏡に触れる宿泊合宿などへの期待が大きいのでは……と顧問の先生の分析。ラグビー班17名、メンバー勧誘ガンバレ。

2023年8月撮影



No.	運動班	班員数(名)		
		男子	女子	計
1	陸上競技班 ★	9	11	20
2	剣道班	7	6	13
3	ソフトテニス班	10	8	18
4	バスケット班	31	13	44
5	バレー班	17	19	36
6	卓球班	19	11	30
7	バドミントン班	28	25	53
8	弓道班	16	19	35
9	水泳班 ★	3	2	5
10	サッカー班	37	0	37
11	ラグビー班 ★	17	0	17
12	山岳班	10	0	10
13	空手道班 ★	6	4	10
14	硬式野球班	35	7	42

※★は過去3年間(R2.3.4)に全国大会出場
※2023年5月現在

No.	文化班	班員数(名)		
		男子	女子	計
1	語学班	1	7	8
2	自然科学班	28	8	36
3	天文班	33	39	72
4	美術班	2	10	12
5	演劇班	6	4	10
6	合唱班	2	5	7
7	書道班	0	15	15
8	ギター班	16	33	49
9	吹奏楽班	5	44	49
10	将棋班	4	0	4
11	軽音楽班	20	41	61
12	邦楽班 ★	0	13	13
13	弦楽班	7	15	22
14	競技カルタ班 ★	1	14	15
15	漫画同好会	9	7	16
16	文芸同好会	0	8	8

※★は過去3年間(R2.3.4)に全国大会出場
※2023年5月現在

構成・栗下修一(高21回)

お願い
 強歩大会、修学旅行、クラブ活動など、あなたの体験をお寄せください。実証を積み重ねて、それぞれの行事の歴史を綴っていきたくて考えています。『稻穂』にも反映していきます。